

地域再生計画名：有機資源の有効利用による地域産業活性化計画【長崎県・川棚町（かわたなちょう）】

計画概要

- 川棚町の中山間地帯においては、昭和50年代後半以降、肉用牛共同肥育施設が相次いで建設され、長崎県を代表する大型畜産団地を形成している。また、川棚川流域に広がる水田地帯における土づくり対策として、畜産団地から大量の堆肥の供給を行っており、地域一体となった稲わらと堆肥の相互供給による営農が展開されている。しかし、畜産団地が展開する中山間地帯は平坦部から急勾配で狭小なうねカーブが多く、離合も困難な状況にあり、出荷時及び畜産資材の搬入搬出において多大な支障を来している。
- このため、町道と広域農道を連携して一体的に整備し幹線道路と連結させることで、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築し、畜産業の生産コストの低減による規模拡大により競争力を強化し活性化を図る。
- 川棚町内には、戦時遺構群などの観光資源が点在し、また隣接する佐世保市にはハウステンボスがあり、これらの観光地を周遊する路網の整備が遅れているため、観光資源を十分に活用できておらず、観光振興に支障を来している。
- 地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築のため、新たな周遊ルートを整備し観光地へのアクセスを充実させ、戦時遺構などの観光資源の活用を図ることで、地域の雇用創出や所得向上につなげていく。

地域再生計画の区域

長崎県川棚町の全域並びに佐世保市及び波佐見町の区域の一部

計画期間

令和2年度～令和8年度

地域再生計画の目標

項目	現状	目標
肉用牛の飼育頭数の増	1,678頭	1,905頭
観光消費額の増	3,197百万円	4,200百万円

※最終年度に事後評価検討会を実施し、目標達成状況を確認し公表

地域再生を図るために行う事業

<地方創生整備推進交付金(道の整備事業)>

町道：3,255m 広域農道：6,049m

総事業費7,994,961千円(うち国費3,997,480千円)

町道 304,300千円(うち国費 152,150千円)

広域農道7,690,661千円(うち国費3,845,330千円)

<その他の事業>

- ・社会資本整備交付金
- ・地域資源を活用した新たな観光地のおもてなし向上事業

地域再生のイメージ

